

報道関係者各位

同時資料提供
大阪府政記者会 大阪市政記者クラブ 大阪経済記者クラブ



OSAKA 21st CENTURY ASSOCIATION

平成 20 年 2 月 12 日

財団 大阪 21 世紀 協会
法人

大阪市中央区天満橋京町 1 番 1 号
大阪キャッスルホテル 4 階

WEB <http://www.osaka21.or.jp/>
<http://www.osaka-brand.jp/>

担当: 水都・創造プロジェクト 加藤・藤坂

TEL 06-6942-2003 FAX 06-6942-5945

広報担当: 大阪ブランドセンター 高橋・北元・加藤

TEL 06-6942-2006 FAX 06-6942-5945

～「水都大阪 文学で川をめぐる」クルーズを楽しみませんか?～ 水都大阪再発見クルーズ (第 3 回) の概要と乗船者募集

財団法人大阪 21 世紀協会は、平成 20 年 3 月 9 日(日)に大阪市内の橋・水路・川縁など、大阪の発展に重要な役割を果たしてきた水運に関わる歴史を辿る「水都大阪再発見クルーズ」を開催し、その乗船者(60 名)を募集します。第 3 回目となる今回は、大阪の川を舞台にした文学作品に描かれている情景を研究者の解説と朗読を交えながら辿り、その作品世界に浸ります。文学の視点からの「水都大阪」の魅力を再発見するクルーズです。

「水都大阪再発見クルーズ」は水都として大阪の魅力を大阪ブランドのコンテンツとして発信するためのパイロット事業です。

水都大阪再発見クルーズ(第 3 回)概要

タイトル: 第 3 回「水都大阪 文学で川をめぐる」

内容: 近世、近代、現代に至るまで、大阪の川を舞台に描かれた多くの文学作品や研究文献が残されています。土佐堀川、堂島川、大川、そして淀川に至る間、船からの風景に、該当する作品に描かれた情景を辿ります。研究者の解説と朗読を交えながら、その作品の世界に浸ります。文学の視点から「水都大阪」の魅力を再発見します。

予定コース: 淀屋橋港__ (土佐堀川)__ (堂島川)__ (大川)__ 毛馬閘門__ (淀川)__
毛馬閘門__ (大川)__ 淀屋橋港

実施日: 平成 20 年 3 月 9 日(日)

出航時刻: 13 時 00 分 (所要時間)約 2 時間 30 分

講師:

解説: 夙川学院短期大学 高島 幸次 教授

朗読: フリーアナウンサー 馬場 尚子

参加者募集内容

募集人数: 60 名

参加費: 1,500 円

申し込み: 往復はがきに①郵便番号②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥乗船人数(1 名又は 2 名)⑦返信用表面に申込者の住所・氏名を記入のうえ下記まで
〒540-0032

大阪市中央区天満橋京町 1-1 大阪キャッスルホテル 4F

(財)大阪 21 世紀協会 水都大阪再発見クルーズ係

締め切り: 平成 20 年 2 月 22 日(金)消印有効

第3回「水都大阪 文学で川をめぐる」

【予定コース】

淀屋橋港_(土佐堀川)_(堂島川)_(大川)_毛馬閘門_(淀川)_毛馬閘門_(大川)_淀屋橋港

※ 毛馬閘門を通り、淀川を遡上

【出航時刻】

13時00分 (所要時間) 約2時間30分

【講師】

解説： 夙川学院短期大学教授

高島幸次

朗読： フリーアナウンサー

馬場尚子

【解説資料】

運航コース、解説場所、建物に関する解説等を記載した資料を作成し、参加者に配布する

【対象となる文学作品】

井原西鶴「日本永代蔵」

近松門左衛門「心中天網島」

宮本輝「泥の河」

水上瀧太郎「大阪の宿」

藤沢恒夫「私の大阪」

高安月郊「水の都」

高村薫「黄金を抱いて翔べ」

与謝蕪村「柳女・賀瑞宛蕪村書簡」



毛馬閘門を通るアクアライナー



「泥の河」(宮本輝)の舞台となった
土佐堀、堂島川合流点付近

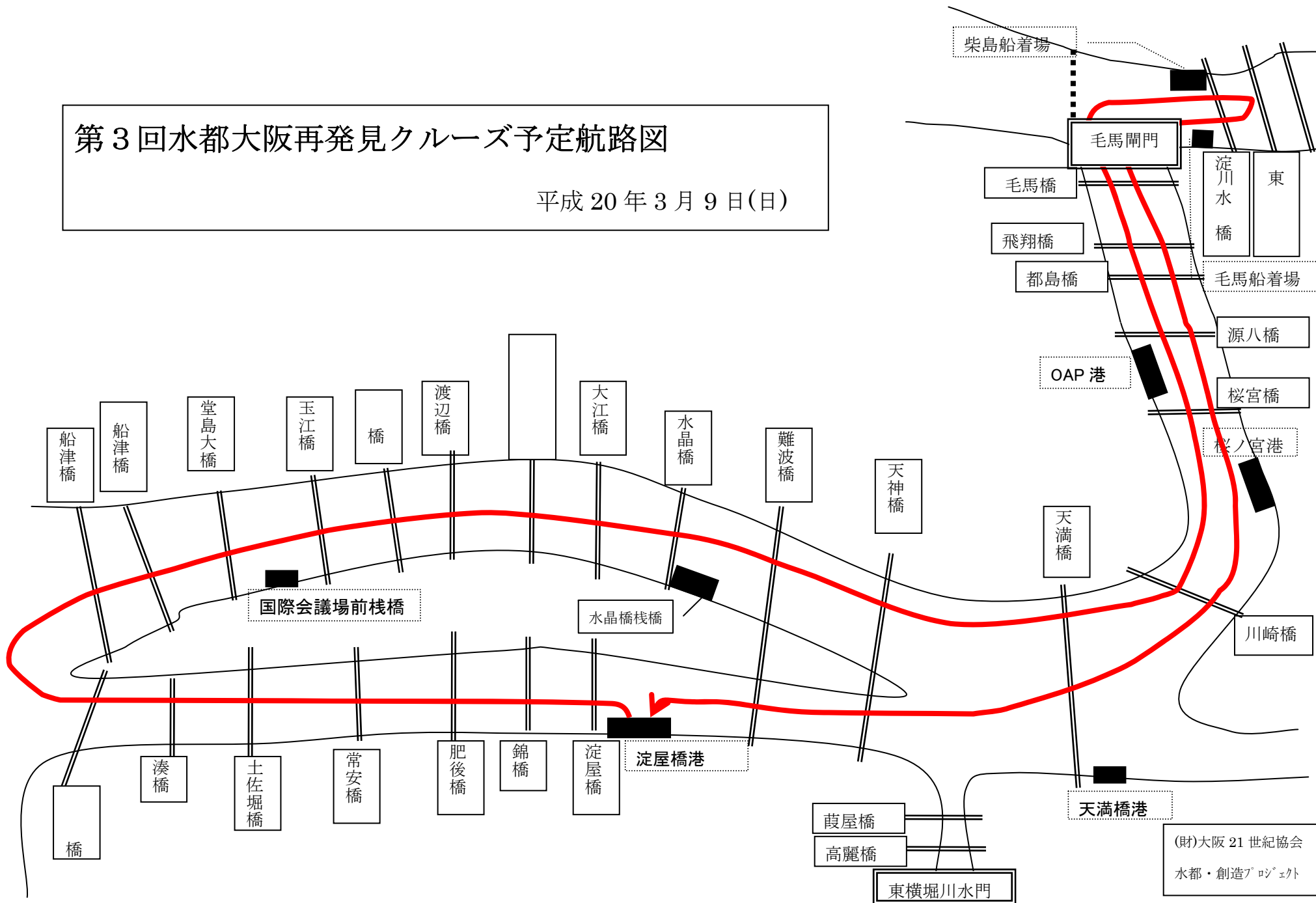
《参考:水都大阪再発見クルーズ(第2回)について》

「川から巡る大阪の建築今昔」というタイトルで平成20年1月27日(日)に実施し、解説:大阪人間科学大学 環境・建築デザイン学科 植松 清志 教授、コーディネーター:夙川学院短期大学 高島 幸次 教授で、淀屋橋港_(土佐堀川)_(木津川)_(堂島川)_(大川)_桜之宮棧橋_(大川)_淀屋橋港のコースを船で巡りました。また、桜之宮棧橋から上陸して大阪市公館を見学しました。

第2回は約300名の応募がありました。

第3回水都大阪再発見クルーズ予定航路図

平成20年3月9日(日)



(財)大阪21世紀協会
水都・創造プロジェクト